

平成28年度今治市多目的温泉保養館指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市多目的温泉保養館（クアハウス今治）
所在地	今治市湯ノ浦36番地
指定管理者	<p>名称 一般財団法人 今治市多目的温泉保養館管理公社</p> <p>代表者 理事長 長野 和幸</p> <p>住所 今治市別宮町1丁目4番地1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課（問合せ先）	<p>健康福祉部 健康推進課</p> <p>TEL：0898-36-1533</p> <p>E-mail：kenkou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	本施設の設置目的である、市民の健康管理と福祉の向上に資するため、条例、規則、仕様書等に従い適切に管理運営に努めました。	B	職員が施設の設置目的、特性等を理解して各事業に取り組んでおり、利用者向けに事業等を紹介した冊子を作成し周知に努めている。
利用状況	C	施設利用者は昨年度より減少しました。また、会員数も高齢化に伴い減っています。今後は、利用者の減少傾向の抑制や会員の高齢化に対する対策を検討します。	C	工事に伴う施設の一部利用停止の影響から、利用者数、自主事業参加者数とも減少しましたが、会員の高齢化による会員数自体の減少も見受けられる。今後、若年層に向けたPRや幅広い世代を対象にした事業の実施など会員の増加、利用の促進に繋がる新たな取組を期待します。
事業収支	A	通帳、印鑑は金庫に保管。出金する際には必ず出金伝票管理簿に記入し、経理担当者2名がチェックしています。	B	会計事務所の助言のもと、適切な会計処理ができています。今後も適切な収支計画のもと、施設の管理運営と事業を実施してください。
管理運営体制	B	健康増進等にかかる業務を遂行するために健康運動指導士5名と同等以上の能力を有する者1名の計6名で開館時間を通して平均3名を配置しています。	B	適切に職員の配置ができており、障がい者の就労支援、高齢者の雇用にも積極的に取り組んでいる。また、必要な研修は適宜受講しており、職員間の情報共有もできている。
管理運営業務	B	植栽管理業務においては業務基準表の回数以上行い、美観の保持に努めました。	B	業務基準、仕様書に定められた基準を満たしている。利用者が安全に気持ちよく利用できるよう定期的に巡回するなど職員の意識も向上している。
利用業務	B	利用者（特に高齢者）が安全に快適に利用できるように施設やバスの更新を行いました。また館内掲示や印刷物も分かりやすいものを心がけました。	B	料金表や発券機により、各割引もわかる料金表示に努めるとともに、わかりやすい施設利用案内資料や掲示板の整備、丁寧な職員による利用指導に努めている。HPの更新も適宜行っている。
その他業務	B	省エネ対策、喫煙対策については積極的に取り組みました。また事故、災害対策については、講習、訓練を実施し、利用者の安全確保が図れるよう努めました。	B	仕様書に定められた業務は一定の水準を満たしている。災害や事故への対応についてマニュアルを整備しており、必要な訓練や研修も繰り返し実施されている。バスの運行は、利用者の要望に沿って柔軟に対応している。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
修繕業務	A	施設の現状を把握し、今後の修繕計画を立て、市と協議の上、修繕の優先順位を決めています。また利用者の意見を聞き、安全性及び利便性の向上を図るため、修繕を実施しました。	B	施設の状況をよく把握し、市と協議のうえ、計画的に修繕を行っている。
備品管理業務	B	破損箇所があれば迅速に対応し、使用に問題なく良好な状態を保ち、適切に備品管理をしています。	B	備品は適切に管理されている。軽微な故障は職員が対応し、安全利用に関わる箇所は業者に対応させるなど、業務への影響が最小限になるよう迅速に対応している。
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	利用者の利便性向上を図るため、ニーズに対応した使用許可の手続きを適正に行いました。	B	手続は適切に行われている。
自主事業	B	当施設の温泉利用型健康増進施設という特色を活かし、幅広い年齢層の人がそれぞれの健康課題に応じて眷属的に取り組めるように曜日や時間帯、教室の内容等を工夫し実施しました。	A	市内全域に出向き事業を実施するとともに、外部講師を招聘して教室を開講したり、幅広い年齢層を対象にするため時間帯の工夫や託児を実施するなど常に業務を見直しながら取り組んでいる。また、参加者の個別データを分析することにより、数値として事業の効果を確認することができ、好評である。
地域団体との連携	A	事業実施にあたり、各地域団体との情報交換、コミュニケーションを図り、連携、協力して事業実施につなげるよう努めています。	A	派遣型事業を通して地域団体と定期的な情報交換を行うとともに、地域に根ざした事業が実施されている。また他の団体と連携したイベントの開催やチラシ等の配布、事業のPRなど様々な取組が行われている。
利用者アンケート	B	利用区分別にアンケート調査を実施し、課題を分析して改善に役立てています。またアンケート結果は館内に掲示し公表しました。	B	一般利用者、会員利用者それぞれにアンケートを実施、集計している。結果は公表するとともに、課題を分析、施設の管理運営業務の改善に努めている。
事故・苦情	B	利用者からの苦情や意見などの情報収集をし易い環境作りに努め、迅速に対応しました。	B	利用者からの苦情は職員が共有し、迅速に対応するよう努めている。また、施設内への掲示により公表も行っている。
指定管理者の経営状態	/		指定管理者として問題なく経営が行われている。	

総合コメント（市）

自主事業においては、施設で実施する様々な教室や地域の諸団体と連携した地域派遣型事業で参加者から信頼を得ており、参加者数も安定している。また、市民のニーズの把握に努め、外部講師を招聘した教室やボランティアによる託児の実施、参加者の募集地域拡大など常に事業を改善しながら取り組んでいる。施設の利用者数、事業参加者数とも減少しており、この原因の大半は、プールゾーン等の施設工事に伴う施設の一部利用停止が響いたものと思われるが、会員数自体も減少しており、会員の高齢化の中、今後、会員の安定した確保に向け、新規会員の掘りおこしや定期利用の促進のため、幅広い年齢層を対象にした事業の実施や健康づくり事業参加者への利用勧奨、情報発信、PR等について積極的に努めていただきたい。

施設の管理運営については概ね適正に業務が遂行されており、利用者の安全利用に向けた研修や施設の点検も適切に実施されている。今後も安全で快適に施設が利用できるよう、利用者の意見・要望にも柔軟に対応し、施設の管理運営に取り組んでいただきたい。

指定管理者選定審議会による総合評価

評価点	選定審議会による評価
-----	------------